

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587046101	科目番号 / Subject code	05870461
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 14321_005		
授業科目名 / Subject	文化の交流と共生 (世界と日本の文化交流) / Cross Cultural Exchange Between Japan and the Rest of the World		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	鈴木 英明 / Hideaki Suzuki, 王 維 / Wan Uei		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	鈴木 英明 / Hideaki Suzuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	鈴木 英明 / Hideaki Suzuki		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Target students	教育・経済・薬学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hideakisuzuki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	総研棟11階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2941		
担当教員オフィスアワー / Office hours	必ず事前に連絡すること。アポイントなしの訪問は一切受け付けない。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	奴隷制廃止は19世紀初頭から20世紀前半のあいだに世界のほとんどの地域で法的に消滅する。約1世紀半という時間は、それまで奴隷制が歩んできた長大な時間と比べれば驚くべき短さである。この世界的な共通体験は、往々にして、イギリス発の現象として捉えられる傾向が強い。しかし、近年では、一定程度のイギリスの影響を「グローバル」なひとつの要因として認めながらも、他方で「ローカル」な諸要因にも注目が集められつつある。この講義では、奴隷制廃止という世界的な共通体験に関連する日本の経験をこれら一連の共通体験の中に組み込むことを目的とする。		
授業到達目標 / Course goals	世界史的な視野で物事を考える方法の獲得。つまり、ある時間幅における水平(空間)的な展望とある空間幅における垂直(時間)的な展望を掛け合わせて物事を考察できるようにすること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	課題、授業への積極的な参加 (100%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	世界史、グローバル化、奴隷、奴隷制廃止		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	講義関連の資料はすべてLACSで配布する。また、参考書などは授業中に適宜紹介する。参考文献としてHideaki Suzuki (ed.) Abolitions as a Global Experience, Singapore: NUS Press, 2016.		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	世界史的共通体験としての奴隷制廃止
第2回	奴隷とは何か？
第3回	環大西洋ネットワークと奴隷
第4回	啓蒙思想と奴隷制
第5回	環大西洋ネットワークと奴隷制廃止
第6回	ハイチ革命
第7回	フランスにおける奴隷制の廃止と復活
第8回	イギリスにおける奴隷制廃止とイギリス国民の誕生
第9回	インド洋奴隷交易と海の覇権
第10回	植民地支配と奴隷制
第11回	非公式帝国と奴隷制廃止
第12回	タイと日本における奴隷制廃止
第14回	国際社会による奴隷制廃止とエチオピア
第15回	奴隷の代替労働力としての契約労働者
第16回	まとめ

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587046301	科目番号 / Subject code	05870463
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 14331_005		
授業科目名 / Subject	文化の交流と共生 (芸術で見る世界と日本)COC+ / The World as Seen Through the Arts		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	王 維 / Wan Uei, 廖 赤陽 / Liao Chiyang		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	王 維 / Wan Uei		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	王 維 / Wan Uei, 廖 赤陽 / Liao Chiyang		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Target students	教育・経済・薬学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wangw@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	多文化社会学部 1号館 1階王研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2913		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (ただし、事前にメールで連絡すること。連絡先: wangw@nagasaki-u.ac.jp)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	地球に暮らすあらゆる民族は、異なる自然環境、言語や宗教或いは歴史や社会などの環境に対応し、周辺の民族と交流しながら、その社会でのアイデンティティに支えられた固有の祭礼、芸能や音楽をもってきた。民族音楽学や世界音楽などの見方から、東アジア地域を中心とする多彩な祭礼、芸能や音楽を通して様々な世界を見る視点を学ぶ。特に以前から外国文化(芸能・音楽)を受容してきた長崎の事例を紹介することで、地域から異文化交流の視点を理解する。		
授業到達目標/Course goals	芸術(祭礼・芸能など)で見る世界と日本というテーマに関する基礎的知識を習得する。 グローバルの視点から、多様な世界と日本を理解する。 異なる音楽文化を通して、広い視野から世界を見る能力を養う グローバルの視点から長崎地域文化の土壌の形成を認識できる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	試験及び課題レポートの得点統計に出席率を掛けたもので判定する。試験50% レポート50%。欠席した授業内容にかかるレポートの提出は受け付けない。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	音楽、異文化交流、芸能、アイデンティティ、民族(エスニック)、長崎、地域文化		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	徳丸吉彦『民族音楽学』放送大学教育振興会、1991年。『民族音楽理論』1996年 藤井知昭他編『民族音楽概論』東京書籍、1992年 柘植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』音楽之友社、1999年 王維『日本華僑社会における伝統文化とエスニシティの再編』風響社、2001  山口修『応用音楽学』放送大学教育振興会、2000年 その他、随時紹介		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	出席と予習・復習が不可欠。授業外学習に充てるべき時間は週平均2時間以上とする。実際の進展状況に応じて授業計画を変更する場合がありますので注意されたい。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	「すべての民は音楽的思考を行う」という言葉を聞いたことがありますか。この授業を通して世界、そして身近の社会を見るもう一つの見方を考えましょう
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	序説 東アジアの文化圏
第2回	理論編(1)音楽を見る視点：音楽学?比較音楽学?民族音楽学 などについて
第3回	(2) 諸民族の音楽様式
第4回	(3) 楽器のハードウェアとソフトウェア
第5回	(4) 伝承と記述(楽譜)について
第6回	地域編：比較の視点から (1) 中国・漢民族?歴史の概観、劇音楽
第7回	中国・漢民族?歌舞音楽と曲芸音楽(語り音楽)
第8回	中国・少数民族-多彩な芸能と音楽
第9回	(2) 日本の伝統芸能：歌舞伎と芝居小屋 中国の劇音楽と比較しながら...
第10回	(3) 朝鮮半島音楽の語り音楽
第11回	(4) モンゴル音楽の諸相
第12回	(5) 文化の伝播・受容・変容：西アジア起源とする楽器 (中国と日本)
第13回	移動・文化交流による音楽文化のグローバル化 (1) 世界に舞う獅子舞・龍踊り
第14回	(2) 世界に響く和太鼓
第15回	まとめ：
第16回	試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/02/08		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587046501	科目番号 / Subject code	05870465
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 14341_005		
授業科目名 / Subject	文化の交流と共生 (アジアにおける人の移動と日本) / Migration in Asia and Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	南 誠 / Minami Makoto, 王 維 / Wan Uei		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	南 誠 / Minami Makoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	南 誠 / Minami Makoto, 李 偉		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Target students	教育・経済・薬学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	lisk-minami nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	総合教育研究棟10F		
担当教員TEL/Tel	819-2926		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール(lisk-minami@nagasaki-u.ac.jp)連絡		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	人の移動が活発に行われる今日のグローバル社会を生きる誰もが、人の移動によって生じる諸問題に直面する。この授業ではアジアという地域に焦点を定めて、人の移動にかかわる諸現象(移動の歴史、移動をもたらす諸要因や、人の移動による文化交流と新たな社会空間の生成など)を講義することで、アジアと日本の多文化状況や、異なる言語と文化を持つ人々との共生と協働について理解を深めます。		
授業到達目標/Course goals	アジアにおける人の移動や、日本との関係に関する理解を深めつつ、人の移動によって惹起した具体的な諸現象や、日本国内で生活する外国住民の歴史と現状、および、日本の「多文化」化社会の実態を自分の言葉で説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	最終レポート(50%)、授業および討論への参加度(50%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	グローバル化、国際移民、エスニシティ、ディアスポラ、社会的包摂と排除、多文化共生、境界文化、歴史記憶、東アジア共同体		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書はとくに指定しない。授業のなかで適宜に課題文献を紹介する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	人の移動を考えることは、異文化交流のための知識を養うことでもあります。しかしそれ以上に、日本に住む外国住民の問題を他人事ではなく、自分も生活する日本の多文化化社会の課題として考えるようになることが大切です。本講義の聴講を通して、是非ともそうした感性を培ってください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「人の移動」の概説
第2回	日本人移民の略史
第3回	日本をめぐる人の移動(戦前編)
第4回	日本をめぐる人の移動(戦後編)
第5回	日本人移動の影響?文化編(東アジアの場合)
第6回	日本人移動の影響?歴史・記憶編(東アジアの場合)
第7回	日本人移動(本国帰還)の影響(日本の場合)
第8回	日本を生きる外国住民(在日コリアン)
第9回	日本を生きる外国住民(中国系)
第10回	日本を生きる外国住民(日系?)
第11回	日本を生きる外国住民(難民と無国籍者)
第12回	日本を生きる外国住民(その他)
第13回	日本型多文化共生社会の試み
第14回	地域社会と移民コミュニティ
第15回	総括